

委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ掲げたテーマについて審査しています。このページでは、その審査内容や各委員会の活動状況を報告します。

総務常任委員会

今号は総務常任委員会に注目



風野和視 委員長



大山和則 副委員長



林悦子 委員



高田重雄 委員



相田一良 委員



増田豊 委員

施設等の貸し出しについて

市で管理している施設等の貸し出しについては、公共性を満たしていることを確認して、許可するよう要望しました。

全納報奨金の検討を

固定資産税に適用されている全納報奨金については、収納率や納税者の公平性を鑑み、今後の方向性を検討するよう要望しました。

負担金の軽減を

筑西広域市町村圏事務組合負担金遊湯館費については、負担額が大きくなっており、利用者割等を導入するなど、事務組合への働きかけを行うよう要望しました。

市政モニターについて

市政モニターからいただいた意見等については、関係課と内容を精査し、実施できるよう要望しました。

空き家対策について

防犯対策費の空き家調査業務委託については、調査により619件の空き家が確認されたとの報告がありました。今後は、危険な建物の取り壊し指導や、空き家の利活用が図られるよう要望しました。

清掃費の収集委託料について

粗大ごみで搬出されたものを分別し、リサイクル売却費として収入が上がっていますが、リサイクル品の収集方法の改善や、リサイクル品目を増やし、資源ごみの回収意識を高めるよう要望しました。



家庭粗大ごみの搬入(岩瀬じん芥処理場)

ごみ問題について



風野和視 議員

問 不燃・可燃ごみの現状と課題、今後の対応について伺う。

答 市民生活部長 平成25年度一般廃棄物処理実態調査をもとに、県がホームページで公表している県内のごみ処理状況によると、1日の1人当たりのごみの搬出量は739グラムで、44市町村中4番目に少ない状況ですが、リサイクル率に関しては、県平均の22%に対して15.7パーセントで、35位という状況です。今後の対応としては、生ごみの水切りなどによる減量化、あるいは指定袋使用の徹底などについて、広報紙や市民祭などの行事等で啓発していきたいと考えています。また、真壁・大和地区の不燃ごみの収集ですが、資源物であるアルミ缶やスチール缶などが分別されずに不燃ごみとして出されることが多いため、リサイクル収集場所と同時にリサイクル呼びかけをしています。

問 平成26年度の筑西広域市町村圏事務組合清掃費負担金が5億4622万円で、岩瀬地区と真壁地区の不燃ごみを比較すると、岩瀬地区が146トン、真壁地区が285トンで139トンも多い。環境センターへの可燃・不燃ごみの搬入量は合計9434トンで、トン当たり換算すると約5万3490円になり、この139トンにトン当たりの単価を掛けると約743万円になる。減量すれば700万円ぐらい縮減できるという認識でよいのか。

答 市民生活部長 そのような考えでよろしいと思います。また、何年か前にサンプリングを実施していますが、場所は限定していません。搬出したごみを不燃とリサイクル物に分けたところ30%を超えるリサイクル品が出てきていますので、今年度、区長会を初めとした説明会を始めたいと考えています。

病院問題、大和駅北開発問題を問う



榎戸和也 議員

問 合併特例債の組みかえ論議の中で、建設費総額は72億円とされているが、建物だけの建設費で見ると、担当者は52億円と説明し、市長は35億円とできるといっている。17億円も金額が異なる中で、組みかえの議論などできるのか。

答 市長 国との協議の中では52億円と35億円前後で建てられると私は考えています。

新中核病院はどんな病院か

問 新中核病院は、誰もがかけられる病院とされたか。

答 市長公室長 未定ですが、公立二病院の機能を引き継ぐ病院なので、当然そうなると思います。

問 県西病院がなく、なり困るのに、

答 副市長 必要な部分の用地取得を考えています。

問 両市「基本構想」には、「建設場所」最終的には、財政等を総合的に勘案し、「選定すべき」と書かれている。これを尊重し、県西病院の所とすつかり比較検討すべきでは。

答 市長 本市の検討委員会の意向を尊重し、大和駅北区域を進めていきたい。

問 市長は、高森側の開発には市の資金投入は不要と説明し、先の補正予算を通り越させた。しかしその際の説明書には市による「用地先行買収」とあった。

答 副市長 必要ない部分の用地取得を考えています。

問 「思う」でいいのか。市長 県西病院の機能を充実させた病院が(筑西市に)できると思ってもらえたいと思います。

大和駅北地区開発

問 環境影響評価やオオタカ棲息の問題は、どうするのか。

答 市民生活部長 環境アセスメントの実施は、現時点では判断できません。

問 副市長 オオタカの件は調査を進めており、その結果をもとに考えます。

問 市長は、高森側の開発には市の資金投入は不要と説明し、先の補正予算を通り越させた。しかしその際の説明書には市による「用地先行買収」とあった。

答 副市長 必要ない部分の用地取得を考えています。